

令和4年度(2022年度)事業報告

1 総括

「地域の資源を活用し、環境と共生する持続可能な地域づくり」を基本理念とする第七次水俣・芦北地域振興計画の基本施策1「水俣・芦北地域への『流れ』の拡大」に基づき、これまで取り組んできた産業振興による地域活性化の流れを更に強化するため、地場企業の支援、農林水産業の振興等、当地域の強みやニーズを活かした取組みを推進した。

特に、地域経済や雇用面で重要な役割を担う地場の中小企業、とりわけ小規模企業へ焦点を当て、ニーズに対応した総合支援を行うこととし、地域一体となった第一次産業の振興、六次産業化、観光振興等、総合的な産業振興に取り組んだ。

令和4年度(2022年度)は、環境配慮型農業の推進、アジアカエビの試験養殖、アサリ資源の再生、和紅茶、マガキ、林産材をはじめとする地域製品のブランド力の強化を図るとともに、新たな取組みとして、くまモンと地域の農林水産業を掛け合わせた体験旅行商品の造成を行い、それらの販路拡大・情報発信を行った。

また、令和2年7月豪雨災害により、被災した事業者の収益確保や地域産業一体となった賑わい創出など、地域産業全体の再興を後押しした。

2 事業報告

(1) 環境配慮型農業推進事業

農薬や化学肥料に頼らない環境配慮型の農業を地域全体で実践するため、生産者向け栽培技術講習会を開催するとともに、当地域に点在する狭小農地においても持続可能な環境配慮型農産物の実証栽培と販路開拓を併せて行うことで環境首都にふさわしい食と農の地域ブランドの推進を図った。

[具体的な取組み]

○環境配慮型農産物実証栽培の推進

- ・アボカド栽培技術専門家(ヨネトロピックス代表 米本仁巳氏)による訪問技術指導(4月～3月、18回)
- ・環境配慮型農業実践塾((株)グリーングラス代表 道法正徳氏)の開催(4～3月、24回)

(2) 異業種間連携・販路開拓支援事業

食や健康の分野において、当地域の優れた地域資源の持つ成分、加工技術、保存技術、地域の伝統文化を活用して、農商工連携・六次産業化による付加価値の高い商品開発を行うとともに、パッケージデザインや販売戦略の検討、新たな販路の開拓を行うなど、新産業の創出を図った。

[具体的な取組み]

○地域産品を活用した新商品開発

- ・海藻由来の粒状食品「みずたまご」を活用したイクラ代替食品(水俣市)
- ・芦北産柑橘を使ったシュガーフルーツ(芦北町)

- ・芦北地域の食材を活用した台湾カステラ（芦北町）
- ・粳穀・米ぬか・牡蠣殻をブレンドした燻炭肥料（芦北町）
- ・パッションフルーツや柑橘類を使用したクラフトジン（津奈木町）
- ・鱧の薬膳料理（津奈木町）

○展示商談会・都市圏物産展出展

- ・FABEX 東京 2022（4月13～15日）
（株）Mr. Orange（水俣市）、福田農場（水俣市）
- ・FABEX 関西 2022（9月7～9日）
（株）Mr. Orange（水俣市）
- ・FOOD STYLE 九州 2022（11月9～10日）
（株）Mr. Orange（水俣市）
- ・首都圏マルシェ出店（4回）（7・12・3月、東京都・神奈川県）
フルーツマルシェ、クリスマスマルシェ、エコマルシェ

○地域製品のブランディング・販路開拓

- ・大手ECサイトにおけるテストマーケティング（4～3月）
（モンヴェール農山「モンヴェールポーク四川角煮」、
亀萬酒造「日本酒」）
- ・飲食店への地域食材の提案・提供
「銀座月と花」で地域の柑橘を使ったジャムパンを開発・販売
「赤坂四川飯店」において、地域の食材を使ったフェアを開催（4月4日～
30日）

○和紅茶ブランディング

- ・紅茶関連の講師による製造実習及びテイスティング（7・11月）
- ・体験会等による「みなまた和紅茶」の普及促進（11・12・2月、神戸・東京）
- ・インフルエンサーによる和紅茶セミナー

（3）水産物ブランド化支援事業

地域の特産品になりつつあるマガキやクマモト・オイスターの養殖・販路拡大を実施するとともに、アサリ資源の再生やアジアカエビの試験養殖など地域資源の新たな特産化を図った。併せて、活魚、鮮魚及び水産加工品等の販売を強化するため、地域内の加工所、直売所と連携して、水産物のブランド化を推進した。

[具体的な取組み]

○マガキやクマモト・オイスターの養殖・販路拡大

- ・マガキ稚貝購入、貝毒検査、カキ小屋整備
- ・カキ小屋広告宣伝・販路拡大
- ・エアレジ導入（水俣市漁協）

○アジアカエビ試験養殖

- ・アジアカエビ試験養殖（芦北町漁協、津奈木町漁協）

○アサリ資源の再生（芦北町漁協）

- ・アサリ稚貝の調査

- ・関連資材の購入
- ・販売協力店の登録及び販売支援
- ・貝毒及びDNA検査

○水産物加工所、直売所における加工品等の試作試験

- ・加工品、飲食メニューの開発

(4) 水俣・芦北観光応援社事業

地域資源を生かした着地型旅行商品を充実させるため、素材の発掘、旅行商品化や情報発信を効果的に行うなど、交流人口を最大化させ、産業振興と雇用確保を図った。

くまモンと地域の農林水産業等がコラボレーションし新たな観光名所等を創出する「くまモンファーム事業」や、秋に地域内で開催される各種スポーツイベントに訪れる関係者の地域内周遊促進に取り組んだ。

[具体的な取組み]

○くまモンファーム事業

- ・農林水産業の体験等の着地型旅行商品の開発（11商品）
- ・地域の農産物とオリジナルノベルティのセットを通信販売

○地域内周遊イベント開催

- ・県民体育祭、全国SUP選手権等の各種スポーツイベントに合わせて、地域内の観光スポットを周遊する「水俣・芦北スマホでスタンプラリー」を実施

○情報発信

- ・SNS、熊本都市圏や県外の地域情報誌を活用した情報発信

(5) 地元林産材活用推進事業

林家や製材所、大工等の所得向上を図るため、地元林産材を活用した商品開発や地元林産材のPRを行った。

[具体的な取組み]

○地元林産材の高付加価値化

- ・水俣・芦北地域木材輸出等促進協議会（通称：木魅会）を核とした地元林産材の高付加価値化・販路等の検討
- ・芦北地域林業研究グループが未利用材活用策として検討を進めている「木の駅プロジェクト」の取組みを支援

(6) 人材育成事業

地域内外の関係者と連携した創意工夫により、人材育成、就職支援等を行い、雇用創出を図った。

[具体的な取組み]

○求職者向けスキルアップセミナー

- ・技能後継者育成研修受講料の一部助成＜計25名＞
玉掛技能、小型移動式クレーン技能、フォークリフト運転技能 等
- ・福祉医療関係職員研修受講料の一部助成＜計16名＞

介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修、医療事務講座 等

○高校生の就職支援

- ・就職模擬面接会の実施（8月24・25日）
水俣高校3年生の就職希望者47名参加（公務員希望者除く）
- ・地元企業見学会の実施
芦北高校2年生78名参加（10社）（11月8日）
水俣高校1、2年生23名参加（5社）（12月20日）
- ・しごと発見塾（3月7日）
水俣高校1年生：126名参加
地元企業等25事業所が参加し事業所の紹介を実施
事業所紹介パンフレットを制作し、水俣高校、芦北支援学校の生徒に配布

○ガストロノミーマネジメントの推進

- ・県外大学等と連携した出前授業の実施及びフィールドワーク受入れ等
（立命館大学食マネジメント学部、龍谷大学農学部）
- ・地元生産者等による講義（5月20日（オンライン）、7月12日）
- ・県外大学生によるフィールドワーク（9月13～15日）

○事務局経費

- ・会計年度任用職員人件費、事務局運営費

（7）被災地域産業再興支援事業

令和2年7月豪雨により被災した芦北・水俣地域においては、「地域産業」、「まち」そのものが失われかねない危機に直面していることから、当面の収益確保や地域産業一体となった賑わい創出など、地域産業全体の再興を総合的に後押しした。

[具体的な取組み]

○復興物産展等出店

- ・新梅田食道街（大阪市、4月15～19日）
- ・くずはモール（枚方市、5月12～18日）
- ・宮原サービスエリア上下線（氷川町、7月16～18日）

○物産館・直売所を活用した地域産品送料無料キャンペーン

- ・道の駅・物産館・直売所（7店舗）で地域産品の送料無料キャンペーン実施
（3月18日～3月26日）